



駐 村 研 究 員 だより

「農家の叫び」

近藤 牧雄

新潟地震から丁度1カ月、「中越地震」と命名された。大変な被害が農業にも及ぼし、かの有名な“魚沼のコシヒカリ”も今年は食べられないとか！小耳に挟み、気の毒にと思うだけで何もしてあげられないのがもどかしい。被災地の皆さん、頑張ってください。

小さな事かもしれないが、我が家には23号台風（無名）が、10月20日午後3時にやって来て「みずなのパイプハウス」がぺっしゃんこになった。

今年の3月頃、新規参入のみずなを栽培しようとして計画。5月から建設に取りかかり農作業の合間に少しずつ組み立て、今年は早くなるの台風襲来。毎年一番当たり日が9月26日と相場は決まっていたので、ビニールを張るのを延期していた。23号台風が来る予報は知っていたが、10月16日・ビニール張りには絶好の日和。寒くなる冬に向けてぎりぎりの日程だ。友人に助っ人を頼み完成。ほっと一息ビールで乾杯！下にはみずながぎっしり生えている。暖かくてみずなもきっと喜んでいるぞ！

17・18・19日台風予報を聞き流し、「俺が建てたパイプハウス大丈夫」とたかをくくる。いよいよ20日、少し心配。午前中は補強をする。予報どおり午後3時やってきた。ハウスの中で「これ嘘でしょう。すぐ通過する」と信じていたら、何のことはない、次第に強くなってくるとは思わなかった。目に見えてパイプが曲がってくる。このままでは風圧で押しつぶされてしまう。4日前に張ったビニールをすぐ切り裂いた。が、間に合わず見事に崩壊。生えているみずなは滅茶苦茶に踏みつぶされ、

ワヤ。

おまけに、隣にあったアイガモの飼育用パイプハウスは根こそぎゴミのように田んぼの中を風とともに去りぬ。午後8時頃台風は次の新天地を求め移動していった。

バカヤロー！！

翌日は、また友人の助っ人を求め後かたづけ。

丁度、東ティモールから農業研修に来た研修生最後の研修日。彼が一番研修に役立ったのか？ビニールのパイプハウスの建設から解体まで、そして台風の脅威を肌で感じて。午後8時5分には「さよならパーティ」。

翌々日新パイプハウス建設に着手。怪我がなくてよかったなー

今年は多すぎる台風襲来で野菜（葉もの）が高騰 返す返すも残念！

教訓 台風情報はなめるナ 高くつくゾ

言いたい放題

外国から野菜輸入ですぐ平常値
パイプハウスの損害や安値安の
価格返上 この際 儲けさせろ！

（愛知県安城市・農業）



近藤（右）と連絡担当の藤栄（左）
（駐村研究員会議に於いて）